

# 東北日日新聞

本報は毎月十日発行  
社団法人東北日日新聞社  
石巻市本町一丁目  
電話 二二二番

## 醫は仁術なりの言葉にそむく

社民警城支部で今度は薬價料値下げを叫ぶ  
平町において家賃値下げに三割以上を下ぐべきである一段の氣勢を挙げた社民黨を以て値下げ運動を起す警城支部では

石城郡 おける醫師協となり寄り〜  
協議を進めて各藥價を諸物價が下落してゐるに拘らず依然値下げをせぬが如何なる態度に出づるに置くことは醫は仁術なかと興味ある問題と見られるものに背くことであるかである

## 年の瀬切抜けに血眼の商人

弱身につけ込み暴利を貪る悪ブローカー連  
不景氣と緊縮の板ばさみで借手とを料亭に併ひ散々亂石城地方における商人等は癡氣騒ぎをなし話しがさま如何にして歳の瀬を切り抜ければ一割の手敷料を受けるけるかと血眼となつて善後約束の下に早速金を引き出す

講究中 だがこれに目利息は約二割の天引をつけた悪ブローカーは巧きといふ悪辣極まる方法に誘惑を試み一部不正金融出で結局一千圓の借手に入業者と結託し暴利をむさばるの約六割見當に過ぎならんとしてゐる一例をあげて苦しい借手も涙をのんだればカモをむかひ込んだのであるその筋の眼は光ローカーは先づ金融業者とつてゐる

## 藤田校で経済講演會

朝日記者を迎へて  
平町商會主催で二十二日午後一時から平町藤田女學校に經濟講演會を開催するが講師は同業朝日新聞經濟部次長前田繁一氏である尙午

## 勿來トンネルの改修はまた止み

茨城縣目をむいて怒る  
本縣が茨城縣と協定改修する計画の勿來トンネル切り本縣がこの改修費を計上し割工事に対しては本縣が再び茨城縣に對して五年度工事として豫算を計上せるや否やを問ひ合せその回答を待つて本縣豫算に計上すべく小柳知事も編成上最後の問題として保留し同縣からの回答を待つたが何等の回答もなかつたことを理由として昨年来福島、茨城兩縣間にもつれとなつてゐる工事の豫算は遂に本縣の明五年度に計上する事が出来ず終つた元來が本縣から茨城縣に接渉したもので同縣は如何でも改修出来るやう極めて重寶な一般道路費中に包含せしめて昨年算

## 梅關翁の事績

委員會昨日開催  
平藩ジュ者室梅關事績編纂委員會は十五日平町諸橋久太郎氏方に開催種々協議をなした

## 政友支部の

所謂吾黨おう歌の民政黨支部總會が一週間前に福島市公會堂で開かれた。その時に集會者は僅かに五百名。しかるに昨日の政友會總會の集會者は實に二千を算し野黨として濱口不景氣内閣打倒の氣勢を猛烈に擧げた。

## 植田農産表彰式

植田農會主催の農産物品評會褒賞授與式は十六日午前十時から同町役場で舉行した

## 大正天皇遷拜式

平町では来る二十五日の大正天皇三年祭に際し午前十時から縣社子鐵倉において町民えう拜式を舉行する

## 内郷私消防檢閲

石城郡内郷村字綴磐城炭礦私設消防組秋季檢閲は十五日午前十時同炭礦グラウンドに於て行つたが石城郡内で始めての私設消防組なので荒井署長臨席檢閲した

## 平局年賀郵便

歴が北に寄り過ぎ日本全体から日本海邊りまで低既報の如く平局の年賀郵便氣壓に包まれ南洋方面の取扱も愈來る二十日から開始高氣壓も北寄りでのた始されるが今年には緊縮が祟め上層は南東風が吹いて今年度の四五萬通より二あるから日本全体が暖か割方は減するものとして臨くなつてゐるといふので時雇も手控へる由である

## 赤尾藤吉郎の四君全く剛

勢だ、本縣選出の代議士だつて帝國議會議長候補の堀切善兵衛氏を始め野善右衛門、石射文五郎、木村清治、松本孫右衛門、中野寅吉、金澤安之助の七代議士がブラリと列席の光景

## 明日の天気

明十七日は北寄りの風ですが今日と變りない模様です

## 讀者文藝を募る

庚午 歲頭 讀者文藝を募る  
年中無休紙として在平日刊中一異彩を放つてゐる我が（東北日日新聞）新年の紙面を飾る爲めに愛諸者諸彦の玉作を募ります。

▲隨筆……十二字詰五十行内外のもの  
▲短歌、詩歌……派の新舊を問はず、清新の想調横溢せるもの  
▲俳句、川柳……特に新年にもなるもの（ハガキに一人五句以内）  
▲郷土民謡……其他電話新年趣味豊かなるもの……等々  
▲投稿は必ず……（俳句、川柳はハガキ）  
▲二錢切手貼用開封便にて東北日日編輯局  
▲新年文藝係と表記し締切前日まで投稿

東北日日新聞社編輯局

# 塔中の怪 (四十六)

無名氏

その玉は使用法を知つてために九死一生の難にさう  
 る者にはあまり使用する 遇したならばその時は仕方  
 事が出ぬのだ。君の如く がない思ひ切つて此タムを  
 全然その玉の大魔力を知ら 大地に投げつけ給へ、屹度  
 ぬ者が持つて居つてたゞ僕 生命だけは助かる左様後か  
 の指揮するまゝにそれを使 用すればよいのだ。  
 君の指揮に従つてと私は今 一度寶の玉を見つめた。  
 左様僕の指揮に従つて之 より黒面島の大魔窟に乗り  
 込んで、

九名の大魔賊と闘ふ時侯が 機を見てその玉を出せと言 つたら君はその玉を出さね ばならぬ。その玉を投げよ と言つたら君はその玉を投 げねばならぬその玉の使用 法のよしあしは我等と魔術 の大海賊との戦の勝敗の分 かる所で、雪子姫を救ひ出 す事の出来ると否とは一に その玉の方によるばかりだ 實に大切な玉だよ、過つて も輕卒なる振舞して其玉を 失ひ玉ふな

だ誰れが失ふものかど私 は思はず一生懸命に寶のタ マを握り詰めたそんなに握 り固めたるには及ばないと 最岡探偵は眼元に微笑を浮 べて

今も言ふ通り其々々實に 貴重な物で之より死地に 乗り入る我等のためには唯 一無二の寶だが然し此後僕 と君とが塔の中で万一同に 別れ／＼になる様な事があ つた場合、若し君が魔賊の

十二月十七日ヨリ三十一日デマ  
 御卜蘇道具及正月用品賣出し  
 景品呈上  
 平町一丁目  
**和久井屋漆器店**  
 電話四〇五番

貸切自動車の御用命は  
 昭和タクシーへ  
 高級車で乗心地の好い  
 昭和タクシー  
 平驛前  
 電話は 三四三番  
 サシミ

共濟 各科専門  
 耳鼻咽喉科 醫學博士 井上俊次郎  
 産婦人科 醫學博士 松枝貞助  
 外科 醫學博士 渡部重  
 内科 醫學博士 桂家憲  
 X光線科 醫學博士 中西波  
 衛生試験所 醫學博士 藤波睦  
 衛生試験所 醫學博士 中藤慶造  
 衛生試験所 醫學博士 小西英夫  
 衛生試験所 醫學博士 吉本孝平  
 衛生試験所 醫學博士 岡本忠治  
 衛生試験所 醫學博士 賀澤忠治  
 衛生試験所 醫學博士 岡本忠治

社告  
 本紙は十二月二十五  
 日付夕刊を以て本年  
 度最終版とし昭和五  
 年度新年号より無休  
 刊にて發行致す可候  
 間此の段社告致し候  
**東北日新聞社**

冬の大賣出し  
 御婚禮用品各種  
 丸帯、江戸袴、訪問着  
 御召、錦紗小紋、袴類  
 防寒用品各種  
 レデーコート、ジヨ  
 ール、羅紗オーバー、  
 既成コート、  
 新製ベビー用品陳列  
 ベビー洋服、マリヤス  
 肌着、袖ナシ、男女初  
 着、パンツ、各種  
 平三井呉服店

生徒募集  
 自動車界今後の大発展に順應せんが  
 爲め、本校は従来の所あり、有爲の青  
 年の爲め奉仕的破格の授業料を特定  
 し大募集を開始せり。  
 教授は熟練し、先づ來りて本校獨特の  
 機地練習の長時間にして學資の低廉  
 なること全國無比、本校の最も誇り  
 とする所なり。本校出身者の受驗者  
 は實に七十以上の合格率を有し現在  
 入學生七十餘名の多數なり。  
 一、本科三ヶ月卒業 六十圓  
 一、速成科二ヶ月卒業 三十五圓  
 一、學科實習費共 四十圓  
 一、受驗料一ヶ月卒業 三十圓  
 一、學科實習費共 一ヶ月分  
 一、受驗準備短期練習部 毎月試験前  
 十日間全學費 三十圓  
 一、卒業生は試験前無料練習の便あり  
 一、時間貸下 新フオート、シボレ  
 一、一時間三圓、T型フオート一時  
 間二圓  
**城警自動車學校**  
 電話四六〇番  
 島縣平町四軒

御見合の御寫眞は  
**中島寫眞館**  
 御婚禮の御寫眞は

學生外套特賣  
 〇當店特製の生地裁縫共に申分ない品です  
 小學生用 8圓50錢ヨリ  
 中學生用 11圓00錢ヨリ  
**なかや洋服店**  
 平二 電 203

獨乙フンケル會社  
 製特用蓄音器、針着荷  
 第一、一本の針で五回も使用出來ます  
 第二、一本の針で高音低音自由  
 第三、舶來品として價格の安いこと  
 「ピアノ印」一箱 (二百本入) 五十錢  
 是非一度このピアノ印針を御試用願ひます  
 尚蓄音器の修繕は、安く、良く、早く  
 御電話十九番へお掛け下されば早速お伺ひ致し  
 ます  
**大谷時計病院**  
 電話十九番

外科一般 (入院隨意)  
 内臓外科専門  
**花柳病科**  
 平町六丁目(橋際)  
**木村科外醫院**  
 電話三〇九番

内外果實問屋  
**不藤居商店**  
 平町三丁目 電話五四三番